

Midwives' awareness of maternal health
checkup guidance and background factors in
Makassar City, Republic of Indonesia –
Interviews and Steps for Coding and
Theorization (SCAT) –

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2018-01-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00049699

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



平成 29 年 8 月 18 日

博士論文審査結果報告書

報告番号

学籍番号 1127022028

氏 名 松井 由美子

論文審査員

主 査（職名）田淵 紀子（教授）印

副 査（職名）中谷 壽男（教授）印

副 査（職名）津田 朗子（教授）印

論文題名 Midwives' awareness of maternal health checkup guidance and background factors in Makassar City, Republic of Indonesia
—Interviews and Steps for Coding and Theorization (SCAT)

論文審査結果

【論文内容の要旨】

世界第 4 位の人口を有するインドネシア共和国は近年、経済的にも目覚ましい成長・発展を遂げるアジアの新興国であるが、2015 年の妊産婦死亡率は、出生 10 万人当たり 126 人と高く課題となっている。妊産婦死亡の主要原因である出血や高血圧、感染による妊婦の分娩時の異常を未然に防ぐことが必要であり、妊婦健康診査における指導や医師への報告、他の医療機関への紹介が必要なケースか否かの判断は助産師の重要な役割と考える。

そこで本研究の目的は、インドネシア共和国マカッサル市で妊婦健康診査を実施する助産師の、妊婦指導に対する認識やその背景について明らかにすることである。方法は保健所および母子病院で妊婦健康診査を担当する助産師を対象に、妊産婦死亡の関連因子である高血圧、貧血、出血などに対する指導内容について半構造的インタビューを実施し、SCAT (Steps for Coding and Theorization) による質的分析を行った。SCAT は、4 ステップのコーディングとストーリーラインを記述し、そこから理論を記述していく方法である。その結果、妊産婦死亡の原因で最も多い出血に対しては、保健所・母子病院両施設の助産師の認識が以下のように明らかとなった。政府のあらたな保健政策であるオンラインシステムの導入により病院搬送が迅速化されたことや保険制度の適用により、超音波検査の利用拡大による効果が期待を持って受け止められていた。また、妊婦の低栄養と過剰栄養の相対する栄養問題に対処することは途上国の特徴であり、体重管理を適切に行うことは助産師の大きな役割となっていた。また、保健所と母子病院では施設機能の違いから保健所の助産師は妊婦の高血圧や低血圧は少ないと認識しており、そのため指導内容も母子病院に比べて不十分であることが示唆された。

【審査結果の要旨】

本研究は、SCAT という手法を用いて質的なデータ解析を行ったものであり、新しい手法に着手されたことにより、今後の質的研究の発展に期待できる。質疑応答では、調査に至った背景や調査地の状況、研究方法、分析手法、今後の展望等について質問がなされたが、いずれも適切に応答されていた。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士（保健学）の学位を授与するに値すると評価する。